



浜田屋本店の瓦版 第5号

株浜田屋本店 TEL:0799-28-0330 FAX:0799-28-1556

2018年 4月発行

～ 大切な方にお送りする情報誌 ～

◆淡路島の隠れた名所（散歩コース）◆

まいど！ 浜田屋本店の濱田です。

今回は、淡路島の「サントピアマリーナ」をご紹介します。

洲本市の古茂江海岸（古茂江は入り江の意味）を埋め立てて、1974年・昭和49年（今から約44年前）に「東洋一のヨットハーバー・サントピアマリーナ」がつくられて、日本中で話題になりました。海を埋め立てて広大な土地を作るという事業はまさしく「日本列島改造」でした。

私は、当時の土木技術の進化をこの目で見て感動しました。今でも「ここは海だったんだよな～」と思いをながら歩きます。

その当時は、休みになるとヨットレースがたびたび行われていて、まるで映画のワンシーンのようでした。石原慎太郎さんも来られていて、お見かけしたのを思い出します。

又、ブルースリーの「燃えよドラゴン」が大ヒット中で、空手ブームの時代だったこともあり、千葉真一さんも空手映画のロケに来ていました。当時高校生だった自分は、友達と撮影現場を見に行き偶然会うことができました。色紙にサインをしてもらって、すごく嬉しかったことは忘れられません。その色紙は今でも大事な宝物です。最近その千葉真一さんの息子で、新田真剣佑さんが活躍しているのを見ると時代の流れを感じます。

その後、テニスブームの時にテニスコートがたくさん作られて、毎日ラケットを持った若者であふれていました。けれど今ではソーラーパネルやマンションが建ち、すっかり様変わりしています。島外からも魚釣りに来られる人も多く見られる釣りスポットにもなっているようです。

また、近くに「住吉神社」があり、ここには海神を祭っています。江戸時代中頃（天明）から正月三日には「恵方参り」と称して、その年の疾病退散・商売繁盛を願いお参りします。

「恵方参り」というのは、太陽の昇る方向に向かって一年の計を願うということです。海・船出から大漁・新しいことの船出・出発につながることから、漁師たちも一年の海上安全を祈願しています。

毎年、古くなった笹を持って行き、吉兆と呼ばれる縁起物、鯛、小判、お札などをつけた新しい笹を購入し福を授けてもらいます。

◆スタッフからの一言◆

もうすっかり春になりました～(^o^)

この時期、淡路島では毎年つばめが飛び交い、あっちの家こっちの家と巣作りの物件を探しています。さながら住宅展示場に訪れる夫婦って感じです。うちにも毎回見学に来ていて、今年は初めて新築を建設中。狭い場所なので極小の巣を作っています。春の風物詩ですね！

（担当：中山）

【浜田屋本店の会社概要】

- ◆商号：浜田屋本店
- ◆設立：昭和41年1月5日（創業：明治35年）
- ◆所在地：兵庫県洲本市安乎町平安浦 1864-8
- ◆HP：<http://www.hamadaya-honten.jp/>
- ◆TEL：0799-28-0330 FAX：0799-28-1556

【社長のプロフィール】

- ◆濱田 昌宏（はまだ まさひろ）
- ◆誕生日：昭和34年3月30日
- ◆出身地：兵庫県洲本市（淡路島）
- ◆趣味：考古学、日本の超古代史研究
- ◆座右の銘：我以外人皆師

